



白聖

はくあ 第7号 令和7年6月26日発行



《オープンキャンパスに行こう》

オープンキャンパスは、大学などがその学校のことをよく知ってもらうために、生徒や保護者を対象にして開催する進学イベントのことです。キャンパス内の施設・設備を開放して、学校紹介や模擬授業、個別進学相談会などが行われます。学校の情報は、学校案内のパンフレットやホームページでも得ることができますが、実際に足を運んでみると、文字や写真だけではわからない多くのことを知ることができます。オープンキャンパスに参加することによって、志望校や志望学部を変更する人もいます。入学してから後悔しないためにも、事前にキャンパスの雰囲気を知っておくことは大切です。

【オープンキャンパスの開催時期】

オープンキャンパスは、基本的には **7～8月の夏休みを中心に行われます**。難関校は、一部の大学を除き、夏休みの8月前半開催がほとんどです。それ以外の多くの大学はさらに複数回実施しています。秋に開催されるオープンキャンパスもありますが、学園祭や文化祭などと並行して行われることが多く、イベント時の大学の雰囲気を知ることができます。夏休み以外に開催される場合は、土日開催が多いため、学校を休むことなく参加することが可能です。

【オープンキャンパスのメリット】

○志望校の生の空気が感じられる

オープンキャンパスには、志望校の生の空気が感じられるというメリットがあります。実際に足を運ぶことによって、大学の雰囲気など自分の目で見て確かめることができます。図書館や研究室、学生食堂などの生活空間を訪れて在学生の様子を確認しましょう。学校案内のパンフレットやホームページで受ける印象と、実際に大学に行ったときに受ける印象に違いを感じることは少なくありません。可能であれば、複数の大学に行って、各大学の雰囲気やさまざまな情報を比較してみるのも良いでしょう。比較することで、第一志望校を見つけていくこともできます。また、オープンキャンパスで一度学校まで行って見ることで、具体的に通学するイメージもつきやすくなるため、入学後のミスマッチの予防にもなります。注意したいのは、キャンパスが複数分かれている大学です。自分が行きたい学部のあるキャンパスに行かないと、十分な情報が得られません。間違えて別キャンパスに行かないよう確認しましょう。

○入学後について知ることができる

授業内容や学生生活、就職・進学状況など、気になる事柄について詳しく知ることができます。大学によっては、模擬講義が受けられるところもあります。実際に進学した場合と同じ授業を体験できるので、入学後の自分の姿をリアルに想像できます。さらに、受験勉強のモチベーションアップにもなるため、大きなメリットといえるでしょう。また、授業内容だけでなく、在学中に取得できる資格や就職先や進学先についても知ることができます。

○入試情報が得られる

オープンキャンパスは、入試の詳しい情報を確かめる最高の機会です。入試説明会はもちろん、入試対策講座や、個別相談会、在学生による受験体験談が聞ける催しなどが開かれている場合もあるので事前に確認しておくとう良いでしょう。質問できる機会もありますので、気になることはどんどん聞いていきましょう。大学によっては、過去問題集の配布が行われることがあります。また、オープンキャンパスへの参加経験が、後の総合型選抜や学校推薦型選抜入試の面接時に役に立つ場合もあります。興味がある学校のオープンキャンパスには早めに参加しておいたほうが良いでしょう。

オープンキャンパスは、進路を決めるためにぜひ参加しておきたいイベントです。ホームページや学校案内からもその大学の特徴を知ることができますが、可能であれば実際に足を運び、自分の目で見て確かめることでより多くの情報を得ることができます。大学側としても、入学希望者に施設・設備やカリキュラム、キャンパスの雰囲気などを知ってもらうことにより、ミスマッチを減らせるため積極的にオープンキャンパスを開催しています。多くの情報を集めて自分に合った大学を見つけてください。

【進路ナビ 高校生のための進路サイトより引用・抜粋】



《3 学年進路講演会 & 2 学年希望者対象進路講演会》

6 月 18 日（水）の HR 活動に時間に、3 年生全員を対象に「3 学年進路講演会」を開催しました。この講演会は、進路選択と進路志望達成に向けて 3 年生の意識を高めさせ、今後の高校生活が充実したものになることを目的として進路指導部が企画しているものです。講師に千葉工業大学入試広報部特任入試アドバイザーの吉田直史先生をお迎えし、「折れない心！～全ては貴方のホンキ次第！～」をテーマに講演していただきました。吉田先生は、大手予備校に長年勤められた経験をもとに、昨今の大学入試の現状や模擬試験の結果分析の仕方、授業第一とした勉強の大切さや、現役生の成績は試験当日まで大きく伸びることを熱っぽく解説してくださいました。部活動も引退し、総合型選抜や学校推薦型選抜の準備も始まる時期の進路講演会は、3 年生にとって大きな刺激となるとともに、受験に向けて決意を新たにす絶好の機会になったようで、やる気を漲らせていました。



また、吉田先生には同日放課後の 2 年生の希望生徒を対象とした「2 学年進路講演会」でも講師を務めていただきました。「夢をつかめ！～なりたい自分になってやる！！～」をテーマに、職業と大学の学部・学科との関係や難関大学を目指すべき理由、2 年生の前半までにやるべきことについて丁寧に解説していただきました。55 名の生徒が受講しましたが、講演後には多くの質問が寄せられ、生徒の積極性が窺える講演会でした。

以下は受講した 2・3 年生の感想を抜粋したものです。

~~~~~ 3 年生 ~~~~~

- ◆スマホの使い方を見直して自分に課す制限を厳しくしようと感じたし、朝勉強をしっかりとやることで、1 日の勉強時間を増やしていこうと強く思った。
- ◆学年プラス 1 時間という言葉が印象に残った。平日 4 時間勉強するためには、スキマ時間をいかに有効に活用できるかが重要だと改めて感じた。

- ◆講演を聞いて、悩みがちな模試の判定や勉強の伸び悩みが根元から解決されたように感じ、受験本番まで柔軟に立ち回りながらも、自分のやりたいことに芯を持って成し遂げることの大切さを学んだ。
- ◆大学受験における勉強の考え方や勉強時間の目安、模試の受け止め方などで参考になることがたくさんあった。特に、模試の結果で分野別で結果を分析することはあまりしていなかったもので、これからは模試の復習として分野ごとの対策も取り入れていきたい。
- ◆一番大切なことは合格する強い気持ちを最後まで持ち続けることだとわかった。当日まで伸びしろがあることを忘れず、将来の自分のために勉強に励みたい。
- ◆自分で調べるだけでは辿り着く事が難しそうな情報を得ることができ、とても有意義だった。改めて共通テストは侮れないものだと感じたので、共通テストまでの残り 200 日を大切に過ごしていきたいと思う。

~~~~~ 2 年生 ~~~~~

- ◆難関大学を目指す意義を再確認できて良かった。自分の甘かったところに気づけ、さらに良い勉強方法を知ることができてモチベーションアップにつながった。
- ◆講演会を通して自分は時間の使い方が悪く、継続する努力をせずに甘い考えだったと感じた。部活がある日もない日も勉強時間を必ず設けて、習慣化したい。学校の休み時間や通学時間を使って課題を終わらせて家では自分に必要な勉強に取り組めるようにしたい。
- ◆今まで勉強する時間はあるはずなのに勉強せずにいる事が多かったが、受験勉強は早めに始めたほうが合格率は格段に上がることを知り、今から少しずつ勉強していきたいと思った。また家に帰ったらすぐ勉強する、時間を決めて勉強するなど生活の中のルーティンとして勉強出来るようにしたい。
- ◆自分の人生について、今まで以上に真剣に決めなければならないと思った。2 年生の秋までに志望大学を決められるよう、オープンキャンパスに参加したり、積極的に情報を集めたりしていきたい。
- ◆私たちの状況や視点から勉強法や大学受験、大学選択についての説明だったの分かりやすかった。勉強はやらされるのではなく、自分が将来やりたいたいことをして満ち足りる生活を送るためにやっているの、そこは履き違えることがないようにしようと思った。